

若楠かわら版

社会福祉法人 若楠
療育医療センター 若楠療育園
若楠児童発達支援センター



〒841-0005

佐賀県鳥栖市弥生が丘 2 丁目 134 番地 1

Tel 0942-83-1121

Fax 0942-83-1755

『 8 年 目 の 自 己 紹 介 』

療育医療センター若楠療育園 小児科医 小野 晋康(のぶやす)

いつもお世話になっております。若楠療育園の医師として勤務し始めて早8年目が経ちました。初めての寄稿ですが、今回は自己紹介のような内容を書いてみます。

私は療育園入職前は主に佐賀県内の病院で勤務しておりました。医師となり15年経った平成28年度末、私の都合で前職を離れ引っ越しもすることにしました。転居先は妻の実家から遠くない基山町内に決めましたが、その時点で転職先は未定でした。そんな中、若楠で医師の募集を偶然知り、当時の事務長さんと面談、就職先は思いのほかあっさり決まりました。

ただ、仕事を始めてからの数年間を思い返すと、私は本当にわがままでした。今となっては本当に反省していますが。

それまでに勤務していた病院の殆どで、急性期疾患のお子さんたちを診療しており、特に若楠入職前の9年間は「週に1~2日の夜間時間外診療を行う当直」を何とかこなしておりました。カルテを書く暇も取れないほど忙しくて、そんなギラギラしたノリを持ったままの自分が残っていました。そのためここになかなか馴染むことができず、ずっといらだちも消えませんでした。

「郷に入りては郷に従え」これがなかなか難しかったのです。

一方で、若楠で働き始めてからは勤務外の時間が徐々に長くなりました。当初はどう時間を使うか悩むくらいでしたが、とりあえず「家事の手伝い、子供の習い事の送迎、練習の付き合い」などの役割を引き受けることにしました。これもお恥ずかしい話なのですが、実際にこなすことで家族と過ごす時間の楽しさを実感できるようになりました。以前の自分は本当に仕事を言い訳に逃げていたから、食わず嫌いをしていたから、子供や妻と過ごす時間の楽しさに気が付かなかった。ああこういうことなのか、自分に足りなかったこと。などと密かに気づきつつ毎日を過ごしています。

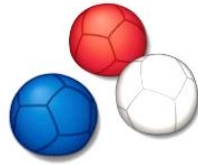
近年は生きていて、初めて気づく生活中的発見がいくつもありました。そのおかげか仕事にも余裕をもって取り組めるようにもなりました。「ようやく」なので職員や入園者、患者の皆さんには本当に申し訳ないのですが。

ところで、自己紹介でした。生まれは佐賀県白石町(合併前)、高校は武雄高校(中高一貫化前)、大学は佐賀大学(当時は佐賀医科大学)です。括弧だらけですが、それだけ私が若くないことを表していますね。今年で47歳、来年は四度目の年男。趣味はランニングになるのでしょうか、来年度からまた何かしらの大会に参加し始めようと思っています。ここ数年はコロナ禍の影響もあり、下の息子の練習相手に専念して出場を控えておりました。身体能力を維持して、「死ぬまで走ることができること。自ら動き回れること」が最低限の防災対策だと思うのですが、いかがでしょうか？

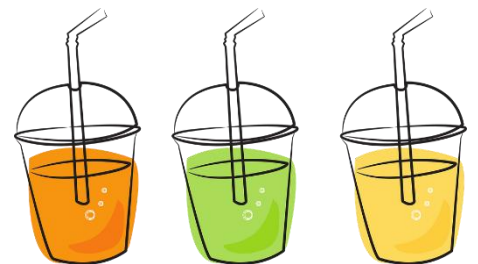
皆さんもお気づきだと思いますが、私はなかなか課題の多い医師で、癖のある人間です。しかしそろそろ協調性を身に付けて謙虚に生きようと本気で思い、踏ん張ってまいります。

ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

療育園祭



9月～10月にかけて各ユニットで療育園祭を開催しました。
午前はお食事会、午後からボッチャ大会と出店。
「お食事会」では、サンドイッチやハンバーグなどの人気メニューを美味しく楽しめました。
「ボッチャ大会」では、チーム一丸となり、どの試合も白熱していました！
「出店」では、ジュースや駄菓子など好きなものを自由に選ばれました。
保護者の方とゆっくり過ごすことができ、皆さんの素敵な笑顔があちらこちらにたくさん見られました。

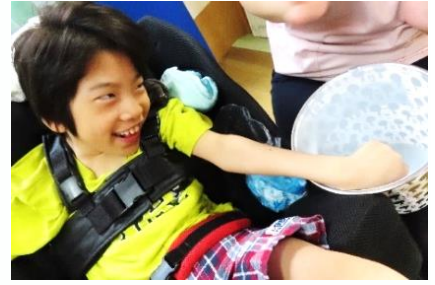


児童発達支援・放課後等デイサービス(重心クラス)

木の実・わかば便り

10月の活動「運動会」で大玉転がしと玉入れをしました。対一やチームに分かれてそれぞれの競技で勝負しました。「大玉転がし」では、スタッフと一緒に車椅子の角や手足を使ってタイムを競いました。「いい調子!」「わー!引っかかったね!」などとスタッフが声をかけるとお友だちも声を出して笑っていました。

「玉入れ」では、右手、次は左手を使って玉を入れ、時間内に何個入るかを競いました。勝敗が決まり、悔しい表情のお友だちもいましたが、「がんばったで賞」の賞状をもらってみんな笑顔になっていました。



生活介護事業

ようやく秋も深まってきました。今回は「食欲の秋」にちなんで、芋掘りを行いました。

掘り出される芋にはいくつか種類があり、色の違いやどう調理するとおいしくなるのかを伝えました。

土を触り本物の芋を見る中で、笑顔を見られました。芋掘りを通して、秋の訪れを感じていただけたのではないのでしょうか!



児童発達支援事業



ハロウィンの活動では、気に入った帽子やマントで仮装して複数の部署をまわりました。普段行かない場所に緊張気味な様子もありましたが、言葉や絵カードで伝えることができ、お菓子をもらった時には達成感の表情も見られました。



放課後等デイサービス事業



自作したお菓子バッグを持って、お菓子をもらいに出発しました。あまり馴染みのない人に話しかけるのに緊張し、伝える言葉を忘れてしまう場面でも「確認できるメモ」を見ながら伝えられていました。初対面の人との交流を通してハロウィンを楽しみました。

互助会 職員懇親会

今年度の職員懇親会は「花の寄せ植え」「陶芸体験」「ボーリング」の3種類より選択していただき、たくさんの職員の方が参加されました。様々な部署の職員とも交流できる機会となり、普段と違った一面も見られとても楽しまれていました。ご協力頂きました「グリーンファーム山浦」「青葉園」のスタッフの皆様、ありがとうございました。

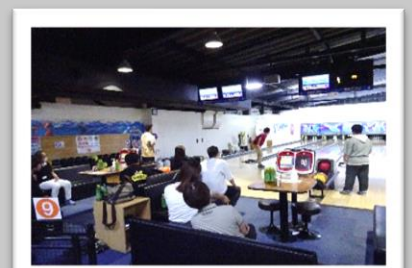
花の寄せ植え



陶芸体験



ボーリング



【編集を終えて】

最後まで「若楠かわら版」にお付き合いいただきありがとうございます。

今号は『8年目の自己紹介』ということで、初めて小野先生に登場していただきました。随筆のような文章は私にとって興味深いもので、楽しく拝読しました。

小野先生には急な宿直やその他、様々なお願いにいつも快くお引き受けくださり、本当に助けていただいています。ありがとうございます。

さて、先生はランニングがご趣味ということでしたが、私はスポーツは「応援する方」が好きです。先月佐賀で行われた国スポ・全障スポの全障スポにボランティアで参加しました。48年前に佐賀県で開催されたのが『若楠国体』でした。47年前に誕生した社会福祉法人若楠の名称の由来です。

自県での国スポ開催に関われるのは、貴重な経験になると思い応募しました。実際に目の前で頑張っている人を応援することは、気持ちの良いもので、たくさんの元気をもらえました。

小野先生の文章の最後に『…本気で思い、踏ん張ってまいります』とあります。先生、陰ながら応援して参ります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(事務長 新貝 恵美)